

# こくさいきょうしつ 国際教室だより

No. 2  
2021年7月8日  
国際教室担当

## ＜国際教室交流会を行いました＞

7月7日(水)1時間目に、今年度1回目の国際教室交流会を行いました。日常的に国際教室に来て学習を行っている子や、外国との関わりのある子が参加しました。

今回の交流会では、まず一人ひとりが自己紹介を行いました。普段はクラス毎に1～3名ずつの子どもが教室に来るのですが、子どもたちは「他にだれが来ているの?」と、しばしば話しています。



- ①どんな子どもたちが国際教室に来ているのか。
- ②それぞれの子どもたちがどこの国とつながっているのか。
- ③それらの国の文化はどのようなものか(子どもたちはそれぞれの国で有名なものを紹介しました)



違う国の子どもたち(今回は6か国でした!)同士ではありますが、同じ学校の同じ教室に通う仲間だという気持ちをもつとともに、お互いの国を知ることを通して更に自分の国のよさに気づいてほしいと心から願っています。



自己紹介のあとは、七夕の短冊を作っただけではありません。これまでの経験やクラスでの取組もあり、子どもたちは、七夕の由来や、短冊の意味などをよく知っていました。将来の夢や上手になりたいこと、学校で育てている野菜の成長、運動会のこと、さらにはコロナウィルスの終息を願う子など、一人ひとりの個性がとてもよく出た願いの短冊でした。



帷子小学校では、国際教室での学びを全校の子どもたちにも伝え、一人ひとりのよさやがんばりを互いに認め合う環境づくりをしています。国際教室の取組についてご理解・ご協力をどうぞよろしく願っています。